

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<input type="checkbox"/> 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	住み慣れた町や、見慣れた風景の中で暮らし続ける事で、安心感を得、ぴったりと寄り添う事で 声なき心の声を感じる介護を心がけています。 「やまびこ」理念 や 安らぎのある空間を提供します。ま 真心込めて介護をします。 び ぴったり寄り添い介護をします。こ 声かけ気がけ介護をします。	
2	<input type="checkbox"/> 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎日の朝礼でスタッフ全員が、理念を唱え、理念の実践に向け、自己分析・自己反省をするように促しています。	
3	<input type="checkbox"/> 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にした理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	理念をホーム内に展示し、家族の方や外部の方に見ていただけるようにしています。分かりやすい表現で、憶えていただけるよう工夫しています。	
2. 地域との支えあい			
4	<input type="checkbox"/> 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	近隣の方は、農業従事者が多く、日中の交流は困難な為、夏祭り等の行事への参加を呼びかけています。多くのボランティアの方が、色々な行事に参加頂き、交流ができる事は、入居者様の楽しみの一つとなっています。	
5	<input type="checkbox"/> 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の行事である梅祭り・産業祭・敬老祭等に参加される事、又、その場で懐かしい方や、近所の方々に会われる事を楽しみにされているので、参加可能な物には、積極的に参加しています。	

福岡県 グループホーム「やまびこ」

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6 ○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	「やまびこ」のスタッフとして介護の現場で学んだ事を活かし、地元の高齢者の相談・援助等に、貢献ができるように促している。	○	介護現場から、介護の知識や介護予防についての楽しい講演会などを開催し、地域の方と共に学習をしたいと考えています。
7 ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	常に、より良い介護を行うために試行錯誤し、自己評価・反省をする事により向上を心掛けています。外部機関の方より多方面からの評価いただける事は、より良い介護の創設に繋がる考えます。		
8 ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議では、二ヶ月毎の利用状況・事故報告・ヒアリハット・行事報告等細部の報告を行っています。参加者からの意見・質問等が、多く出され、有意義な場となっておりますし、参考にすべき事も多くあります。		
9 ○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市町村の合併と共に、広域連合を離脱し、市単独での運営となったため、地元担当者の方と身近に質疑応答ができるようになりました。全てに対し、介護の現場のサービスの向上に繋がっていくとかんがえています。		
10 ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	判断能力が十分でない入居者様には、ご家族の方への説明などを行っているため、現在、地域福祉権利擁護事業・成年後見制度を必要とされている方は、いらっしゃいませんが、必要な方には、活用できるよう支援したいと考えます。		
11 ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	個人の尊厳を大切に、些細な行動障害も虐待に繋がるという事を、スタッフ全員が理解し、充分な注意・防止ができると思います。		

福岡県 グループホーム「やまびこ」

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<input type="checkbox"/> 契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約締結時には、十分な説明を行い、理解いただいていると考えています。	
13	<input type="checkbox"/> 運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	月1回の市の介護相談員の来訪で、入居者の相談等、気軽に話しをしていただけるなどの機会を設けています。入居者様の中には、意見・不満等を、話しやすいスタッフに話される方もいらっしゃいますので、不安を取り除くなどの対応を行っています。	
14	<input type="checkbox"/> 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月発行の「やまびこ」通信にて、日頃の様子・行事参加・外出先での様子などをお知らせしています。金銭出納帳のコピー・領収書も毎月の便りに同封しています。	
15	<input type="checkbox"/> 運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議に出席いただく家族様の代表に、意見を出していただく事や、来所頂いた際に意見を拝聴するようにしています。ホームの中には、投書箱をもうける等、ご家族様の意見を反映したいと考えています。	
16	<input type="checkbox"/> 運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月のスタッフ会議・勉強会で意見を聞く機会を設けています。	
17	<input type="checkbox"/> 柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	入居者様の希望は、最大限かなうように、話し合いを行っています。又、帰宅・訪問・通院など、ご家族様の希望と異なる事もありますが、スタッフの確保は行っています。	

福岡県 グループホーム「やまびこ」

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	長くお付き合い・支援できることが、入居者様を一番良く理解できることであり、スタッフの移動は、入居者様・ご家族様の不安に繋がることもある為、避ける最大限の努力を行っています。が、今までの反省材料を基に、スタッフの定着を図っていきたいと思います。		
5. 人材の育成と支援			
19 ○人権の尊重 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	採用に関しては、高齢者を大切にでき、入居者様にとって寄り良い介護支援ができるような人材を、望んでいます。現在のスタッフについては、十分に能力が発揮できている者も多く、良いものが発揮できない者には、時間をかけ育つていて欲しいと考えています。		
20 ○人権教育・啓発活動 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	入居者様の個人の尊厳については、日頃より会議での啓発に取り組んでいます。又、研修会への参加や自ら学ぶことも推進しています。		
21 ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修会や勉強会への参加、個人のステップアップの為の学習を推奨しています。	○	個人の習熟度・知識に合わせた育成計画を立て、人材育成を考えたいと思います。
22 ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他地域の同業者との交流を図り、情報交換を行っています。他の施設の見学者が、来訪されることがあります。	○	以前より、ネットワークを作りたいと考えていましたが、いまだ実行に至っていません。この機会に、是非地域の方とも情報交換を行っていきたいと考えます。
23 ○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	ストレスを軽減する為の懇親会を設けています。ストレスケアの勉強会に参加させ、スタッフ全員で自己管理ができるようとりこんでいます。		

福岡県 グループホーム「やまびこ」

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
24 ○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働くように努めている	スタッフの勤務状態や個々の実績・努力・心構えを評価し、その上でステップアップし向上することが、入居者様や自分自身の為でもある事を、伝えています。		
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
25 ○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聞く機会をつくり、受けとめる努力をしている	利用・相談開始時には、多くの情報を集め、ご本人様の希望を聞くことは元より、声にならない希望を受け止めるよう努めています。信頼関係を築くために、傾聴する機会を多く設け、人柄に触れるようにつとめています。		
26 ○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聞く機会をつくり、受けとめる努力をしている	利用・相談開始時には、ご家族様の意見・希望・心配ごと等、多くの情報を傾聴します。入居のご様子を頻繁に伝える事や、来所いただけるようにお願いする事もあります。		
27 ○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居相談から、退院後の相談などもある為、今現在できることや、今後予想される事などを、助言しています。		
28 ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するため、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	ご本人様の納得が得られるように、ご家族の協力を得た上でのサービスの開始となります。なかなか馴染めない方には、ご家族の協力を得ながら、スタッフの信頼関係を築いていきます。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
29 ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場における、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	若いスタッフにとって、人生の大先輩である入居者様より、色々な事を教えて頂いたり、又、その経験を發揮していただく機会を持っていただく取り組んでいます。		

福岡県 グループホーム「やまびこ」

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30 ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場における、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	心に不安がある認知症の方は、行動に表れることが多く、理念に基づき心で寄り添い、傾聴と受容に心がけています。		
31 ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていくように支援している	面会・支払い時等に日ごろの状況を報告し、ご家族からの希望等を伺うようにしています。家族の関係に関しては、間に入る事や、お互いの話を聞く等、失礼にならない程度の支援をおこなっています。		
32 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	定期的な外出、外泊の促し、面会の声かけを行っています。		
33 ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	スタッフが利用者の中に入りおやつ、食事の時間に会話を引き出すように努めています。女性の方は、部屋を行き来されたり、会話が弾む事も多く、男性の方の関わりを多くしたいと考えています。		
34 ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	季節のお便りとしての通信発行や、ご家族に近況を伺うなどを行っています。		
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
35 ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	施設内だけでは満足が得られない時は、本人の希望を優先できるよう支援する。(例えば自宅であるとか)		

福岡県 グループホーム「やまびこ」

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
36 ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用者が希望されることできる限り叶えられよう支援する(買い物・外出など)思い出話での生活歴の把握に努め、満足度を探る。		
37 ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	ご本人のペースで日課を過ごされるよう援助し、在宅での生活とGHとのギャップを少なくするよう配慮		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
38 ○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している	定期なカンファレンスで情報提供、意見交換を行うなど試行錯誤の取り組みにより、評価・反省を行う		
39 ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	レベル低下その他の症状に応じてカンファレンスを行いプランの見直しをする		
40 ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	センター方式にて情報の収集をし、ケアカンファに活かしアセスメントにて新たなプラン作成		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
41 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	ドライブ・買い物・受診希望など色々な要望をもつ利用者の為の柔軟な対応を心掛けている		

福岡県 グループホーム「やまびこ」

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
42	<input type="checkbox"/> 地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	運営推進会議のメンバーとして各関係からの参加で貴重な意見を拝聴している。多くのボランティアの方や、警察・消防団などの協力を得ている。	
43	<input type="checkbox"/> 他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジヤーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	新規の入居者又他事業所よりの紹介はケアマネージャーを通じ情報の交換を行っている	
44	<input type="checkbox"/> 地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	必要に応じて活用している。現在は困難事例がない	
45	<input type="checkbox"/> かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	在宅医療を契約し、訪問看護利用、定期的な検査を実施し結果をご家族に報告している。	
46	<input type="checkbox"/> 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	在宅医療を通じ専門のDrを紹介して頂き受診するようしている	
47	<input type="checkbox"/> 看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	訪問看護の看護師と連携し、入居者の異常には相談師指示などを仰ぐ	ターミナルケアについては密に相談

福岡県 グループホーム「やまびこ」

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
48 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院中の面会、病棟のDr・Nsと情報の交換をして早期の退院を話し合っている		
49 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	契約締結時の要望や、期間経過後の本人ご家族のご希望を最大限取り入れてのターミナルを考えている。状態に応じその都度状況の説明を行っている		
50 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	重度かされた場合の対応や・終末期を施設でと希望された場合の対応、最期はやはり病院を希望される場合と、あくまでご家族の希望を優先に考え、ホームでの支援可能なこと・医療機関にお願いすることの見極めを行っている		
51 ○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	利用者に必要な情報提供を行い他事業所などのケアマネとの連携をとっている		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
52 ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個々の尊厳を大切に一人ひとりにあった言葉かけを行っている、個人情報については、本人はもちろんご家族に了解を得るよう行っている		

福岡県 グループホーム「やまびこ」

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
53 ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	一人ひとりのニーズに合わせ、自己決定を常に優先している		
54 ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日常の会話の中で何を求めておられるかを摸索できるよう引き出すようしている。		
い			
55 ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	訪問リ美容を利用している。又ボランティアによる訪問美容も利用中利用者の希望により美容室にお連れすることもある		
56 ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者・スタッフ共に同じテーブルで一緒に食べている出来る方は調理や片付けなども手伝ってもらうよう声かけをしている		
57 ○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	嗜好品は希望されればお酒も自由にしているが、現在はタバコ・飲酒をされる方はいらっしゃらない。好みのものを購入希望の時は、外出など支援している		
58 ○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	オムツ使用者は少なく日中に於いてはトイレ誘導を行うようしている		

福岡県 グループホーム「やまびこ」

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
59 ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	本人がご希望されれば毎日でも入って頂いている		
60 ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	習慣で夜遅くまで休まれない方はリビングにてテレビ観賞又はスタッフと共に話をしたりと過ごしてもらっている。薬が必要と思われるときはれる時はDrに相談し処方の検討をするようしている		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
61 ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	お元気だったころの仕事、好きなこと等をお聞きしてそれに近い仕事、役割をして頂くよう声かけをしています		
62 ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	買物ツアーや時に支払いをご自分でされるよう支援しています。金銭の管理ができる方も多く、個人で所持管理しています		
63 ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	個別のケアとして自宅、散歩、病院など、外出希望に添っています		
64 ○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	季節のドライブ、花見、紅葉見学、食事会を計画し、実行しています		

福岡県 グループホーム「やまびこ」

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
65	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話は希望に応じてます		
66	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	ご家族、友人の面会では、各居室が個室になっているので自由に時間も気にされないで話して頂く様にして食事も一緒に出来るよう配慮しています		
(4) 安心と安全を支える支援				
67	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	些細な行動障害であっても拘束と考え、あらゆる身体拘束をしない努力をスタッフ全員がおこなっています	○	各種委員会の設置を検討中
68	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	数名の方はご本人の希望で、居室に鍵をかけているが、職員による鍵かけは行っていない		
69	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	午前と午後に人数の確認と把握をしている		
70	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	包丁・はさみ・洗剤(共有の物は危険物チェックを毎日行っている)		

福岡県 グループホーム「やまびこ」

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
71 ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	ヒヤリハット・ホーム内事故報告書などを活用して防止に努めている	○	火災訓練等は年2回行っている、定期点検も行っている
72 ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	急変時対応マニュアルに添って行動するよう定期的に朝礼・会議等で確認作業を行う		
73 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	マニュアル作成にてスタッフは避難方法を身につけ、近隣の人々の協力体制については、ボランティア協力者をつのりはたらきかけている。また運営推進会議にてメンバーである方々に協力の依頼をしています		
74 ○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	新規の入居者家族には説明、入居後はケアプラン作成時に対策など情報提供を行うようしています		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
75 ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	カンファレンスを行い入居者の情報の共有化を図り新たなケアに努める。		
76 ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬全体の把握は難しいところはあるも大事なくすりの理解はできている。食前のくすり等は印をつけるなど工夫し、3回確認を行っている		

福岡県 グループホーム「やまびこ」

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77 ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	水分補給を行うようし、足りない方に関しては水分チェック表をつけ確実な補給に努めている		
78 ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	口腔ケアの声かけ、介助は食後に実行		
79 ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分不足の方には水分チェックを行い確実な飲水を行う		
80 ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	手洗いの徹底と食前の消毒実行。		
81 ○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	調理器具の消毒、食事の準備時エプロンの交換		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり			
(1) 居心地のよい環境づくり			
82 ○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関回りに花壇の設置・出入口にセンサー・車椅子用のスロープ設置		

福岡県 グループホーム「やまびこ」

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83 ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を探り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用スペース・玄関ホールにソファーを設置し、団欒ができるようになっている。玄関ホールには、光を取り入れる窓もあり、やさしい光線が感じられる。		
84 ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合つた利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	玄関ホールに於いては気の会った者同士良く話されたりソファーの設置が役立っている思われる。又、独りで瞑想される姿も見受けられる		
85 ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅より馴染みの物を持参(タンス・仏壇・写真)居室を畳敷きにするなど落ち着いた雰囲気をつくるようしている		
86 ○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気にも努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	朝と昼食後に空気の入れ替えを実施自室はとくに戻られた時に支障がないように換気を行っている		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
87 ○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物の平屋立てを活かし、長いフラットな廊下を利用しての歩行訓練・歩行器・押し車でリハビリが出来るよう支援している。夜間の安全に配慮しやすい建物の構造になっている		
88 ○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	生活リハビリとしてお茶の準備、洗濯物の手伝いなど自立支援を行い混乱の防止に努めている		
89 ○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	庭の畑で野菜・お花作りをして自由にすごせる空間作りに努めている	○	スタッフ手作りで庭づくりを進行中です。

V. サービスの成果に関する項目

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。
90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	①ほぼ全ての利用者の
		<input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいの
		③利用者の1/3くらいの
		④ほとんど掴んでいない
91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/> ①毎日ある
		②数日に1回程度ある
		③たまにある
		④ほとんどない
92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	①ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが
		③利用者の1/3くらいが
		④ほとんどいない
93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が
		②利用者の2/3くらいが
		③利用者の1/3くらいが
		④ほとんどいない
94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が
		②利用者の2/3くらいが
		③利用者の1/3くらいが
		④ほとんどいない
95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	①ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが
		③利用者の1/3くらいが
		④ほとんどいない
96	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が
		②利用者の2/3くらいが
		③利用者の1/3くらいが
		④ほとんどいない
97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族と
		②家族の2/3くらいと
		③家族の1/3くらいと
		④ほとんどできていない

福岡県 グループホーム「やまびこ」

項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。
98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	①ほぼ毎日のように
		②数日に1回程度
		<input checked="" type="radio"/> ③たまに
		④ほとんどない
99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input checked="" type="radio"/> ①大いに増えている
		②少しずつ増えている
		③あまり増えていない
		④全くいない
100	職員は、活き活きと働けている	①ほぼ全ての職員が
		<input checked="" type="radio"/> ②職員の2/3くらいが
		③職員の1/3くらいが
		④ほとんどいない
101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が
		②利用者の2/3くらいが
		③利用者の1/3くらいが
		④ほとんどいない
102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が
		②家族等の2/3くらいが
		③家族等の1/3くらいが
		④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)